

# 積水化学グループ中間報告書

# 2018

(2017年4月1日~2017年9月30日)

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。積水化学グループは今年で創立70周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

さて、積水化学グループの2017年度上半期の連結業績につきまして、ご報告申し上げます。

中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」の初年度にあたる2017年度上半期の連結業績は、売上高は前年同期比3.1%増の5,341億円、営業利益は前年同期比5.4%増の460億円、経常利益は前年同期比21.5%増の486億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比31.2%増の342億円となり増収増益となりました。上半期は3カンパニーすべてが増収増益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は最高益を更新し、中期経営計画達成に向け、順調なスタートを切ることができました。

通期の業績見通しにつきましても、引き続き新商品の投入と新分野への事業拡大を進め、3カンパニーともに増収増益、連結業績は9期連続営業増益、5期連続最高益更新を見込んでいます。これに加えて、未来への成長投資や新事業創出の取り組みを加速するとともに、たゆみない構造改革を推進し、改革の手を緩めることなく積水化学グループの「新次元の成長」に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも厚いご支援を、引き続き、賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月

代表取締役社長

高下貞二

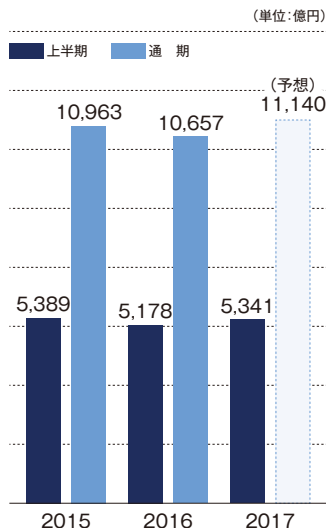


# 積水化学グループ上半期決算のご報告

## 売上高

5,341億円  
+3.1%

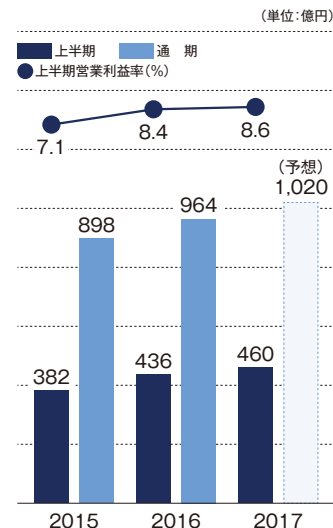
新築戸建住宅や高機能プラスチックカンパニーの戦略分野を中心に販売を拡大したことなどにより、3.1%増加しました。



## 営業利益

460億円  
+5.4%

原料価格上昇の影響を高付加価値製品の販売拡大による製品構成の改善や原価低減の取り組みでカバーしたことなどにより、5.4%増加しました。

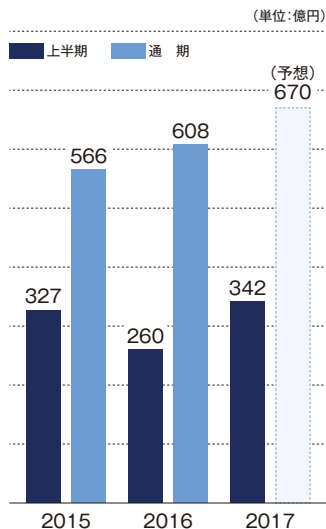


- 2 -

## 親会社株主に帰属する 四半期純利益

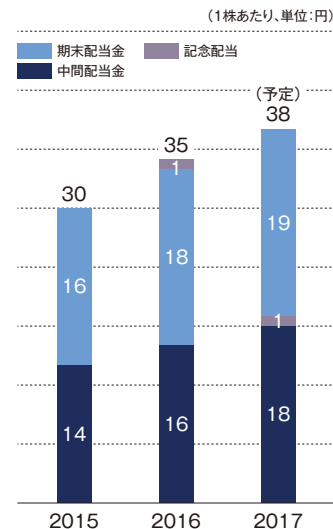
342億円  
+31.2%

営業利益が増加したことに加え、前年同期に投資有価証券評価損を計上したことなどから、31.2%増加しました。



## 中間配当金 19円 (うち1円は 創立70周年記念配当)

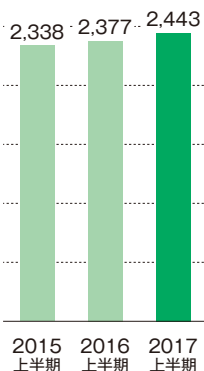
中間配当金は、創立70周年記念配当1円を合わせて、前年度の中間配当金より3円増額となる1株につき19円とし、本年12月1日を支払開始日とさせていただきます。なお、期末配当金は1株につき19円、年間配当金は8期連続増配となる38円を見込んでいます。



- 3 -

(単位:億円)

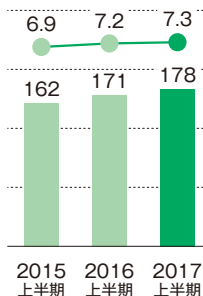
## 売上高の推移



(単位:億円)

## 営業利益の推移

●営業利益率(%)



●新商品や一次取得者層向けの分譲・建売を中心に新築戸建住宅の受注が増加し、増収増益となりました。

●住宅事業は、東阪名の3大都市圏を中心に新築戸建住宅の受注が順調に推移、さらに一次取得者層向けの分譲・建売住宅や新商品の受注も好調に推移したことにより、受注棟数は前年同期を上回りました。7月には寄棟タイプの屋根に大容量太陽光発電システムを搭載し、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)仕様を実現した「スマートパワーステーションGR」、平屋住宅の「スマートパワーステーションGR「楽の家」」を発売しました。

●リフォーム事業は、磁器タイル外壁材などの部材を用いた外まわりリフォーム商品「エコシャンテ」やユニットバスなど戦略商材の販売が順調に推移したことなどにより、売上は前年同期並みとなったものの、期末受注残高は期初に比べ増加しました。

- 4 -

## 創立70周年記念商品 「スマートパワーステーションGR」を発売

本年7月、鉄骨系ユニット住宅「スマートパワーステーションGR」を発売しました。太陽光パネル一体型の寄棟屋根「スマートグループ」を採用し、大容量の太陽光発電システムが搭載可能になりました。躯体と開口部の断熱性能も向上し、エネルギー収支を実質ゼロにするZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)対応仕様を標準化しました。



## 木質系ユニット住宅 「グランツーユーV(ファイブ)」を本格販売

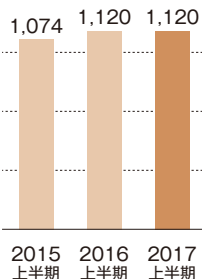
本年10月、木質系ユニット住宅「グランツーユーV(ファイブ)」の本格販売を開始しました。高性能・高強度の新2×6ユニット工法「W5工法」を導入、省力化・効率化を推進して現場施工の工数を約15~20%削減し、2,000万円前後の建物本体価格を実現しました。今後、ボリュームゾーンである一次取得者層を中心に販売強化を図ります。



- 5 -

(単位:億円)

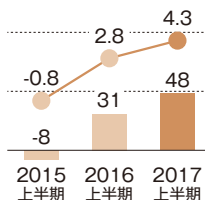
売上高の推移



(単位:億円)

営業利益の推移

●営業利益率(%)



- 重点拡大製品の売上が順調に推移したことなどにより、増収増益となりました。営業利益は上半期の最高益を2期連続して更新しました。
- 配管・インフラ分野は、原料価格上昇の影響を出荷平準化による原価低減と販売価格の改定でカバーしたことに加え、旺盛な大都市圏のインフラ・商業建築向け需要を背景に重点拡大製品の販売が拡大し、増益となりました。
- 建築・住環境分野は、介護ユニットバスなど介護用設備機器や機能性畳などの販売が拡大し、売上はほぼ前年同期並みとなりました。
- 機能材料分野は、海外の鉄道枕木向けや首都圏のインフラ案件向けの合成木材 (FFU)の採用が拡大し、売上は前年同期を上回りました。

- 6 -

## インフラ老朽化対策に向けた新材料「インフラガード™」シリーズを発売

本年6月、社会問題となっているインフラ老朽化対策に向けた新材料を開発し、「インフラガード™」シリーズとして発売しました。「インフラガード™」は、照明や標識などのインフラ施設の長寿命化を可能にするプラスチック単体およびプラスチック複合材の製品群で、2022年度の売上高30億円を目指します。



現場での施工の様子

## ベトナムの大手プラスチックパイプメーカーへの資本参加

本年10月、ベトナムの大手プラスチックパイプメーカーTIEN PHONG PLASTIC (TP)の発行済み株式を15%取得しました。これにより、当社と提携関係にあるTPグループとの関係をより強固なものとし、ベトナムにおける水インフラ整備需要の獲得、さらにASEAN(東南アジア諸国連合)地域への早期進出を目指します。



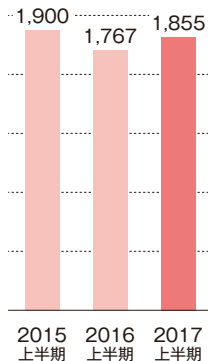
本年7月に行われた調印式の様子

- 7 -



(単位: 億円)

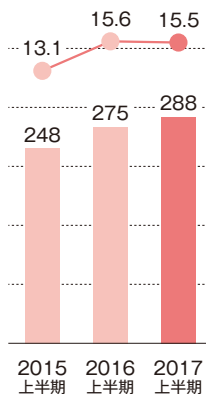
## 売上高の推移



(単位: 億円)

## 営業利益の推移

● 営業利益率 (%)



- 戦略4分野を中心に販売が堅調に拡大したことにより、増収増益となりました。営業利益は上半期の最高益を更新しました。
- エレクトロニクス分野は、スマートフォンやタブレットなどモバイル端末の需要が回復したことなどにより主力製品の販売が堅調に推移し、売上は前年同期を上回りました。
- 車輻・輸送分野は、中国・北米地域の市況がやや停滞した影響を受けたものの、高機能品を中心に販売を伸ばし、売上は前年同期を上回りました。
- 住インフラ材分野は、塩素化塩化ビニル(CPVC)樹脂や耐火材料の売上が堅調に推移しました。
- ライフサイエンス分野は、検査薬、検査機器などの海外展開が順調に推移しました。

- 8 -

## ポリマテック・ジャパンの経営権を取得

本年4月、自動車やモバイル端末向けのエレクトロニクス関連部品を製造・販売するポリマテック・ジャパン(さいたま市)など8社を傘下に持つPT Caymanの発行済み株式の91%を譲り受ける株式譲渡契約を締結しました。これにより、戦略分野である車輻・輸送分野などの事業拡大や、素材配合・加工技術など基礎技術の強化を図ります。



ポリマテック・ジャングループの製品群の一部

## ウレタン製品を製造・販売するソフランウイズの全株式を取得

本年7月、東洋ゴム工業株式会社が保有する株式会社ソフランウイズの発行済み株式の全てを譲り受ける株式譲渡契約を締結しました。硬質ウレタン原液の供給量で国内トップシェアを誇るソフランウイズの強力な販売網を活かして当社の不燃ウレタン製品を展開することにより、戦略分野である住インフラ材分野の事業拡大を図ります。



炎が当たった際、表面に炭化層を形成し、燃え広がりを防ぐ不燃ウレタン製品

- 9 -

## 「Dow Jones Sustainability Indices」の構成銘柄に選定

本年9月、環境や社会、ガバナンスへの取り組みを評価するESG投資の世界的な指標である「Dow Jones Sustainability Indices」の「World Index」の構成銘柄に6年連続して選定されました。この結果は、これまで積水化学グループが推進してきたCSR経営の取り組みについて高く評価いただいたものであり、今後もESGの視点で事業と一体となったCSR経営を強化してまいります。



## 「世界子どもエコサミット2017」を開催

本年7月、創立70周年記念イベントとして「世界子どもエコサミット2017」を首都圏で開催しました。世界13カ国の積水化学グループ従業員の子供たち47名が参加し、7日間にわたり地球規模の環境課題について学び、環境交流・活動の発表を行いました。さらに、子供たちからの提言を受け、経営トップが環境に関する宣言を行いました。



-10-

## 連結財務データ

### 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

	2017年度上半期末	2016年度末
流動資産	471,811	466,101
固定資産	505,648	477,538
資産合計	977,460	943,640

(単位:百万円)

	2017年度上半期末	2016年度末
流動負債	291,340	290,081
固定負債	82,628	83,009
負債合計	373,969	373,090
純資産合計	603,490	570,549
負債純資産合計	977,460	943,640

### 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	2017年度上半期	2016年度上半期
売上高	534,136	517,854
営業利益	46,000	43,653
経常利益	48,603	40,015
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,206	26,073

### 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

	2017年度上半期	2016年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,237	59,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	-16,619	-9,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	-24,768	-24,589

-11-

## 発行株式数および株主数

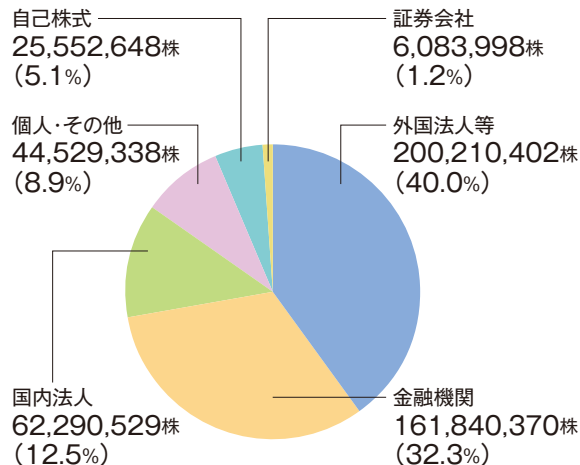
発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
1,187,540,000株	500,507,285株	17,751名

## 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
旭化成株式会社	25,039	5.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,431	4.08
第一生命保険株式会社	19,681	3.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,660	3.72
積水ハウス株式会社	11,998	2.39
東京海上日動火災保険株式会社	11,946	2.38
JP MORGAN CHASE BANK 385164	9,224	1.84
積水化学グループ従業員持株会	8,470	1.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	8,214	1.64
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	7,775	1.55

(注)当社は、自己株式を25,552,648株保有していますが、上記大株主からは除いています。

## 株式の所有者別分布状況



-12-

## 会社概要 (2017年9月30日現在)

### 積水化学工業株式会社(Sekisui Chemical Co.,Ltd.)

創 立: 1947年(昭和22年)3月3日  
 資 本 金: 1,000億237万5,657円  
 本 社: 〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号  
 電話: 06-6365-4119(法務部総務グループ)

グループ従業員数: 26,357名

事業年度: 4月1日から翌年3月31日まで

## 取締役および監査役 (2017年9月30日現在)

取締役会長	根岸 修史	社外取締役	石塚 邦雄※
代表取締役社長	高下 貞二	社外取締役	加瀬 豊※
代表取締役	久保 肇	常勤監査役	長沼 守俊
取締役	上ノ山智史	常勤監査役	濱部 祐一
取締役	関口 俊一	社外監査役	小澤 徹夫※
取締役	加藤 敬太	社外監査役	西 育良※
取締役	平居 義幸	社外監査役	鈴木 和幸※
取締役	竹友 博幸		

(注)※印の5名は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員。

## 株主メモ

### 株式に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

電話(通話料無料) **0120-094-777**

- 三菱UFJ信託銀行では、特別口座に記載された株式をお持ちの株主様のお手続きのみを取り扱うこととなりますので、ご注意ください。
- その他の株主様の各種お手続きは、口座を開設されているお取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の受取方法のご指定等のお申し出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

-13-



# 積水化学をもっと知る

ホームページ上に、積水化学グループについて  
もっと知っていただくためのコンテンツをご用意しました。

## 3分でわかる 積水化学

積水化学グループの  
特長や強み、成長戦略を  
早わかりで紹介します。



パソコン、スマートフォンから下記の方法によりアクセスしてください。

①右記URLを直接入力 <http://www.sekisui.co.jp/aboutsekisui/index.html>

②キーワード検索

## 積水化学グループ2018カレンダーのご案内

株主の皆様を対象に、積水化学グループ2018カレンダーを差しあげます。ご希望の方は、以下の要領にしたがってお申し込みください。

### ●お申し込み方法

同封いたしましたアンケートはがきに、必要事項をご記入のうえご返信ください。

### ●締め切り

2017年12月11日(月)到着分をもって締め切りとさせていただきます。

※お届けは12月下旬の予定です。

